

平成 29 年 12 月 11 日

平成 29 年度 平野区地域自立支援協議会 第 2 回運営委員会

1. 日時

平成 29 年 8 月 25 日 16 : 00 ~ 17 : 30

2. 場所

平野区役所 303 会議室

3. 出席者

事業所名・担当部署名	出席者数
特定非営利活動法人障がい者福祉総合支援センターいちいちまる	2
ヘルパーステーションオアシス	1
くくるワークス	1
スカイ・アポロン/スカイ・アンドロメダ/スカイ・ペガサス	1
ヘルパーステーション羽ばたき	0
障がい児支援センターいろどり	1
自立支援センターさんぼみち	1
地域活動支援センターもくれん	1
大阪市障がい者就業・生活支援センター/南部地域障がい者就業・生活支援センター	0
平野区障がい者相談支援センター	1
平野区社会福祉協議会・見守り相談室	1
平野区役所保健福祉課	4
相談支援事業ひらの	1
オブザーバー（一般社団法人 UnBalance）	1
合 計	16

4 安全安心フェスティバル開催について（平野区役所まちづくり協働課 若松）

- ・ 開催日時 平成 29 年 10 月 9 日(月)
- ・ 開催場所 出戸駅前広場
- ・ 防犯・防災のことを学んでもらうため。地域と触れ合うため模擬展などを企画予定。
- ・ 昨年と同様に、今年も協力の依頼をさせていただきたい。

保田

去年は、震災体験や煙中体験を実際に、障がいのある当事者の方や支援者の方と体験してもらい

ました。体験しておくことは実際の災害の場面で動揺を少なくすることにつながることから、体験していただけたらいいと思います。体験いただけたらアンケートの実施なども出来ればいいと思う。

小河原

- ・ 要援護者に対しての呼びかけなどはどうしているのか教えてほしい。

請川

- ・ 避難訓練などもしているが、実際に体験することは役に立つと思う。

若松

健全者でもびっくりするような体験で小さい子どもは泣いてしまうようなこともあり、介助する側や障がいのある方も広くみなさんに体験していただけるように考えています。そのため、広く案内することで、要援護者に対しての特別な呼びかけはしていません。

協議会

- ・ 当事者の方も参加するのは必要だと思う。
- ・ 広く呼びかけ当事者も参加できるように参加依頼協力する。
- ・ チラシについては意見交換していく。
- ・ 物販については日中活動部会でまちづくり協働課と調整。

5 区民まつり参加について（保田）

- ・ 平成 29 年 10 月 28 日（土）10 時半～ 開催予定
- ・ 去年は、協議会からの情報提供と相談ブースとして出店したが、そこで相談できるかわからなかったため課題となった。
- ・ 今年も 1 ブースを半分使用して、隣では青春生活事業からの物販予定。

意見

- ・ 平野区は広いこともあるが、周知があまりされていない気がする。
- ・ 相談というよりは、啓発的なことをした方がよいのではないか。

協議会

- ・ 今年も物販予定。

6 各部会報告

(1) 相談支援事業部会

課題

- ・ 居宅介護の枠が取れなくてサービスがスタートできないケースが増えてきているため、要望として居宅介護事業所の方で空き情報をアンケートなどで集約していただき、情報提供してほしい。
- ・ ヘルパー不足について問題点が多くある。
- ・ 東住吉支援学校で、就労継続支援 B 型事業にかかる取扱いのうちアセスメント実施における留意事項に対して、区役所での対応がどのようになっているのか。

まとめ

- ・ 協議会として、課題を共有して今後も検討していく。どこに繋げていくことが出来るかなど考えていく。
- ・ 東住吉支援学校でのアセスメントについては、後日、区役所の担当部署よりメールにて回答。

(2) 居宅事業部会

- ・ 部会参加は安定してきている。
- ・ ヘルパーの空き状況を各事業所から報告し、共有している。
- ・ 今後は、ヘルパーの空き状況を他でも共有できればしていきたい。

(3) 研修部会

- ・ 7月27日(木)18時半から、コミュニティープラザ平野で、脳性麻痺による障がいがある方の事例をとおして、保田さんより、講演いただきました。参加者は、17名。
- ・ 今後も、当事者の声を発信していけることがいいと思う。

(4) 日中活動部会

- ・ 4年目になるが、事業所を把握しきれなくなっているのが課題となっており、名簿をつくりなおしたい。(就労継続 A 型・就労継続 B 型・就労移行・生活介護・地域活動支援センター)
- ・ 少しでも多くの事業所に参画いただきたいので案内文を送付予定。(8月中)参画する事業所のリスト作成。

7 他市当事者部会の傍聴について

保田

研修部会の中で、当事者の方に話してもらう事は必要だと話が出たのがきっかけで、当事者部会をやっているところを協議会のメンバーにて傍聴。茨木市については、平成 27 年度に設置された当

事者部会で、11名が参加。堺市については、平成20年度に設置され、12名が参加。他市の当事者部会を傍聴し、平野区でも当事者部会が必要だと感じた。

提案

- ・平成30年4月1日に平野区障がい当事者部会の設置を目指す。
- ・準備会として、プロジェクトチーム（Unbalance 元村氏・オリーブひらの森本氏・さんぽみち 矢野氏・区社協仲谷氏・有限会社ひらの保田氏・いちいちまる請川氏）を結成して平成29年9月より活動予定。
- ・プロジェクトチームのメンバーは、傍聴参加者で構成し、進捗状況は運営委員会で報告。
- ・当事者部会のメンバーは公募などにより募集予定。
- ・選考委員、選考基準を決めて選考する。
- ・月1～2回でプロジェクト会議をし、公募・面接・結果が平成29年12月～平成30年2月の間で実施、平成30年4月の開催を目指したい。

意見

- ・スケジュールが大変そう。
- ・選考や公募をどうやっていくのか。基準など大変ではないか。
- ・障がい当事者が、相談できる場ができることはいいと思う。

8 次期区政会議参加者について

- ・各団体から1名参加、自立支援協議会としては請川氏を推薦。
- ・保田会長は、公募にて立候補すると申出。

9 その他

(1) アルコール依存の講演（大阪市こころの健康センター主催）の共催依頼について

日時：平成29年11月22日(水)

場所：区民センター

- ・協議会として了承、協力する。

(2) 第一回六反まつりの協力依頼について

- ・公共性が確認できないため、保留。

以上